



2022年9月7日
株式会社 阿波銀行

アサヒエナジー株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、アサヒエナジー株式会社（代表取締役 多田 耕司、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	アサヒエナジー株式会社
所在地	徳島県徳島市末広一丁目2番27号
代表者	多田 耕司
業種	住宅設備機器小売業(太陽光発電パネル、蓄電池等)
設立	2021年4月21日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年9月7日



アサヒエナジー株式会社 代表取締役 多田 耕司

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	① 再生可能エネルギーの導入・利用推進	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	13 気候変動に具体的な対策を
			② 2025年までに本社事務所に太陽光発電設備を導入	12 つくる責任 つかう責任	
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	① 製品・サービスの環境に配慮した企画開発・設計基準の設定	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	13 気候変動に具体的な対策を
			② 既存顧客へのアフターフォロー蓄電池設置 年間20件以上	12 つくる責任 つかう責任	
社会・経済	社会貢献の経営方針への統合	持続可能な地域づくりに貢献すべく、社会的課題を事業課題として捉え、その解決に積極的に取り組みます。	① 地域・社会への貢献と自社事業方針・計画との統合	4 質の高い教育をみんなに	
			② 2027年までの自社事業方針や計画に地域社会に対する貢献について記載	17 パートナシップで目標を達成しよう	
社会・経済	顧客ニーズや課題の把握・改善	製品・サービスに関する顧客の意見やニーズを積極的に収集し、改善検討を行う経営を目指します。	① 顧客満足度目標の設定、向上のための取組み推進	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
			② 2027年度までに顧客満足度90%以上達成	17 パートナシップで目標を達成しよう	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。